

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西化工株式会社本社ビル新築工	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市広芝町9-21、9-28	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	114 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2016年10月1日
敷地面積	505 m ²	作成者	松本孝義
建築面積	405 m ²	確認日	2016年10月31日
延床面積	2,346 m ²	確認者	河東孝一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 道路に面して緑地を設けることで街行く人に潤いを与え、又CO ₂ 削減に努めた。		その他 特になし
Q1 室内環境 屋根・壁・床に十分な断熱をし、建物の熱負荷軽減に配慮した。	Q2 サービス性能 設備配管には耐用年数の永いものを採用し、建物の長寿命化に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) アプローチの両側に植栽を設けることで、自然を感じられる出入口とした。
LR1 エネルギー 照明器具にLED照明を採用することで、エネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル PS配管、G L工法を採用することで、内装材と設備が錯綜せず部材の再利用性向上を図った。	LR3 敷地外環境 前面道路より建物配置をセットバックし、周辺への圧迫感を軽減した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0109

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	関西化工株式会社本社ビル新築工事					
		建設地	大阪府吹田市広芝町9-21、9-28					
		用途/区分	集合住宅 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							対象外	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	2.0	3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					3.2	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					2.2	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.4	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								